▲安曇川駅前発掘調査の様子（昭和51年）

1600年前の拠点集落

# ～安曇川町南市東遺跡・下五反田遺跡～

JR安曇川駅周辺には、弥生時代から中世にかけての遺跡である南市東遺跡と下五反田遺跡があります。これらの遺跡が最も栄えた時期は、今から約1600年前の古墳時代とされています。

南市東遺跡では、当時の日本列島内でも早い段階で、竪穴住居とよばれる建物内に竈を設置していたことがわかっています。また、建物跡からは、初期須恵器、陶質土器、軟質土器とよばれる朝鮮半島系の土器が多く出土し、大陸との交流があったことを示しています。

下五反田遺跡は、南市東遺跡の北西約500mのところにあり、南市東遺跡と同じ様に、初期的な竈や大陸系の遺物、製塩土器や鍛冶を行った痕跡が見つかっています。日本海を通じた大陸との交流が盛んであったことを示し、同じ時期の集落と比べても、生産と流通が一定以上のレベルにあった先進的な集落であったと考えられています。

これら二つの遺跡は、立地や性格から密接な関係にあり、共にこの時期の安曇川流域における拠点的な集落といえます。

また、滋賀県下の類似する遺跡としては、湖北の旧高月町高月南遺跡や湖南の守山市下長遺跡、湖東の旧安土町小中遺跡群などが上げられる程度です。

このことから、琵琶湖周辺に所在する5世紀代の拠点集落の一つともいえます。

この他にも、この周囲には、八反田遺跡や東窪田遺跡など古墳時代の集落跡があり、古墳時代の人々の営みは、JR安曇川駅一帯から西側にかけて広がっていた様子が想定されます。

なお、これらの遺跡の出土品は、高島歴史民俗資料館（月・火休館）でご覧いただけます。

（文化財課）

▲南市東遺跡出土土器

## 編集者のつぶやき

夏本番となり、暑苦しい日が続いています。そこでおすすめしたいのが、ステテコです。近頃は種類やデザインが多様に。先日、初めて履いたところ、涼しく快適で愛用しています。ステテコの素材にも使われるクレープは高島の特産品です。ステテコで快適な夏を過ごし、地元産業に貢献しませんか？

（広報担当S）

■発行／高島市　編集／政策部企画広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑504番地
☎0740(25)8000代
http://www.city.takashima.shiga.jp
t-info@city.takashima.shiga.jp

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用。
PRINTED WITH SOY INK 大豆インクを使用しています。